

めだかくらぶ



文責 福田 和子

7月7日は七夕。いくつかの七夕伝説がありますね。こと座（織姫）とわし座（彦星）が一年に一度会える日で、天の川を渡るときに、群れで飛んできて橋をかけてくれるカササギは、羽が濡れてしまうと飛べなくなってしまうそうです。そこで雨が降らないようにお星さまにお願いをしたのが、七夕のはじまりという説が、一般的なように思えます。

豊玉保育園でも、玄関ホールに笹を設置して、子どもたちの願いごとを記した短冊を飾ります。

先月のめだかくらぶ

お楽しみプログラム「しゃぼん玉であそぼう」の日には、9組の親子が遊びに来てくださいました。しゃぼん液を出すと、園児がやって来てリングでたくさんしゃぼん玉を飛ばしてくれました。参加してくれた友だちも、しゃぼん玉を追ったり、自分で飛ばしたりして、楽しんでいました。

希望者の方に、身体計測をしました。



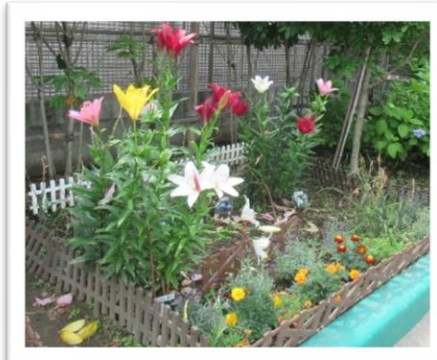
「めだかくらぶ」開催中

地域の親子を対象に、園庭あそびやお楽しみプログラム（左記）育児相談を行っています。

【開催日】平日の月々金
（園行事により、変更あり）

【時間】10時00分～11時30分

◆事前の申し込みはいりません。
玄関のブザーを鳴らしてください。



園庭の花壇：テッポウユリやマリーゴールドなどが咲いています。

今月のお楽しみプログラム

7月7日（木）は『七夕を楽しもう』と7月生まれの誕生会を予定しています。

当日のふれあいランチは、先着3組までととなっております。

1日より予約受付中（費用：1食 250円）

なお、離乳食には対応しておりませんので予めご了承ください。

<絵本のご紹介>



『ととてもととてもあつひい』

ぶん：こいでたん
え：こいでやすこ

ねずみさん、うさぎさん、たぬきさんの家の、木の桶やじょうろなどが、なくなっているの、皆で探しに行くと、そこでは楽しい水遊びが繰り広げられていました。

たのしい水遊び



水の感触が心地よい季節になってきました。たらいに水を入れ、水面をパシャパシャと叩いたり、水の中で手を自由に動かしたり、カップやプラスチックボトルなどで水をすくって、水面にこぼしたりして遊ぶのは、楽しくて、気持ちのよいものです。

他にも製氷皿に水を入れたり、水を含んだスポンジをぎゅっと絞ってジャーっと水を落としたりするなど、身近な物で楽しめます。

大きなサイズのペットボトルは、半分に切って、危なくないように切り口をビニールテープで貼ると、手に持ちやすくなりますよ。



ひとこと コラム

『乳幼児応急手当講習会』より

先月、全職員が乳幼児応急手当講習会で、心肺蘇生、けがの手当の方法などを学びました。一部ご紹介します。

- ◎打撲などの患部を冷やすときは、ジップロックに水を入れ、氷を1、2個入れた物で冷やす。（氷を直接当てるのではなく、水や濡れた布を用いて間接的に冷やすようにする）
- ◎水遊び、プール遊びをしている間は、必ず近くで見守るようにする。水深が3cmでも鼻と口が浸かっていると、溺水は静かに起こる。

保育園の午睡は、睡眠中の事故を防ぐためにも上向きで寝るようにしています。ご家庭でも小さいときから、上向きで眠る習慣になるといいと思います。

◇めだかくらぶの詳細や変更などは保育園前の掲示板でお知らせいたしますので、ご確認ください。